議題2. 地域で取り組まれている防犯活動について

資料2

市名		各市の状況
1	名古屋市	青色回転灯車によるパトロールの他、徒歩での防犯パトロール、子どもの安全指導活動やキャンペーン等の防犯活動を実施しております。本市では、市民が防犯活動を含む身近な地域課題の解決に主体的に取り組む活動に対して、名古屋市安心・安全・快適まちづくり活動補助金（1学区当たり上限55万円）を交付しております。 また、地域からの要望に応じて、市役所に配置している地域安全指導員（警察官OB）を、無料で防犯市民講座の講師として派遣しています。
2	豊橋市	全52小学校区毎にある子ども見まもり隊（隊員数：3,834名）に対し、年2回連絡会議を開催し、情報交換とパトロール物品の配布（帽子、ブルゾン、ベスト、自転車用プレート、自動車用マグネットシート、サンバイザー）を行っている。 その他、各自治会単位で防犯活動を行っている10人以上の団体にパトロール物品（帽子、タスキ、サインライト）の配布を行っている。 また、自主防犯団体の新規設立費用や規模拡大におけるパトロール用品のなどの購入費の補助として、1団体当たり13万円以内の必要経費の補助を概ね2団体に対して行っている。
3	岡崎市	平成24年度末で、151団体、13,203人の方が自主防犯活動団体に所属し、徒歩による昼夜間の自主防犯パトロールや子どもの登下校見守り活動、防犯教室の開催等をしています。本市の支援といたしましては、広報誌やHP、防犯情報メール等の活用により犯罪発生情報等を提供するとともに、団体ごとの隊員数に応じたパトロール物資の提供、合同パトロールへの参加、防犯教室への講師派遣及び啓発チラシ等の配布等をしています。
4	一宮市	青色防犯パトロール隊以外では、一宮市民パトロール隊要綱に基づき、地域の見守り隊などが多数活動している。市としては、これらの団体（128）・個人（475）に防犯資器材として、腕章、チョッキ、自動車用マグネット、ジャンパーなどを貸与している。団体と個人については、8月5日現在の数である。
5	瀬戸市	防犯パトロールにも限りがあることから、地域で防犯上必要な場所に防犯カメラを設置している。市としては、防犯カメラを設置したい地域団体に設置費用を補助しており、設置場所・設置方法などは全て地域で提案される。 2地区では住民との絆づくりとしてお助け隊を設けており、高齢者世帯への植木の剪定、家具の移動、防犯補助錠の取り付けなどを行っている。
6	半田市	提案市
7	春日井市	JR春日井駅前防犯ステーション 地元ボランティアの方々で組織する「JR春日井駅前防犯ステーション運営協議会」で運営する「民間交番」。設置にあたり、春日井市より土地借用、中央ライオンズクラブより建物寄付、愛知県より安全なまちづくりモデル事業と多方面からの支援を受けた。 現在も光熱水費等維持費については市が負担している。
8	豊川市	各小学校区に校区安全なまちづくり推進協議会があり、交通事故と犯罪の発生を防ぐことを目的として、活動している。四季の市民運動期間中は、交通安全担当（交通安全指導隊）と防犯担当が協力し、校区のPTA、青少年活動関係者等とともに活動計画を立てて、実施している。主な活動として、主要交差点での街頭啓発や児童の登下校時の安全確保、町内パトロール等を実施している。他に防犯チラシの発行や、交通安全教室、防犯教室の開催等、交通安全と防犯の啓発を通して、安全なまちづくりに対する意識を高める活動をしている。

市名		各市の状況
9	津島市	市においては、津島市防犯協会及びその3支部において、各種防犯啓発、活動を関係機関と実施しています。 地域により町内会や自治会で、子どもから高齢者まで幅広く参加して歩行による防犯パトロールを実施しているところもあります。こういった活動に対し関係機関や団体等にも協力いただき協働により、パトロール活動を行うとともに、啓発資材等を提供するなどの支援を図っております。 また、こういった活動を市内に情報発信し、地域ごとの小さなグループによる活動が更に拡充するよう推進しております。
10	碧南市	主に町内会を中心とした自主防犯パトロール隊が市内で26団体ある。 26団体には年2回の講習会の開催、防犯グッズ（帽子、腕章）配布の支援をしている。
11	刈谷市	赤色回転灯の配布して、玄関先や車庫等で夜間点灯させることで住宅対象侵入盗や自動車関連窃盗の抑止を図る。赤色回転灯は市が貸与し、設置場所は自治会に任せている。
12	豊田市	≪活動内容≫ 1.地域巡回パトロール活動 2.通学路等における子どもの安全確保の活動 3.環境美化活動とあわせ危険箇所の点検 4.防犯広報活動 5.防犯講習会の実施 ≪支援内容≫ 1.青パト実施者向け講習会の実施 2.活動支援物品支給（ジャンパー、ベスト、帽子、腕章、のぼり、警告灯等） 3.防犯カメラ、防犯灯設置に対する補助金制度
13	安城市	1町内会等の自転車、徒歩による防犯活動。 信号灯、帽子など用品を提供します。 2犯罪抑止モデル地区指定事業。 指定式、決起大会、集会、勉強会などの立案、実施と活動用品を提供します。 3住宅街防犯カメラ展開事業 犯罪抑止モデル地区指定事業実施の翌年に同地区を対象に防犯カメラを設置します。 4防犯灯設置補助事業 町内会が設置する費用を上限額の範囲で補助します。運営費も別途補助します。 5駐車場等防犯カメラ設置事業 5台以上駐車可能の駐車場、町内会の駐車場に設置費の1/2(上限あり)を補助します。
14	西尾市	各地域で防犯啓発広報、少年防犯パトロール活動、防犯決起集会が行われており、その活動に必要な資材（ベスト、帽子）の貸与、市の広報車の使用、啓発品の提供等の支援をしている。
15	蒲郡市	議題1で回答させていただきましたが、約30団体が市内の防犯活動に尽力していただいています。 それらの団体には、市から蛍光ベスト、防犯ブザー、警戒灯、腕章を配布しています。
16	犬山市	・自主防犯パトロール団体が35団体あり、小学生の見守り、地域のパトロールなどに取り組んでいる。 ・拍子木隊による模範巡回など小学生も参加しながらパトロールを実施し、防犯活動の向上に取り組んでいる。
17	常滑市	青色防犯パトロール以外の地域住民による活動として、徒歩によるパトロール（散策時巡回含む）、一戸一灯運動、あいさつ（一声）運動、防犯啓発のためのキャンペーン運動等が行われている。市からの支援として、安心安全モデル地区（防犯モデル地区）として年に1地区を指定する際にパトロール用の資材（ベスト、帽子等）を提供したり、各団体が実施するキャンペーン運動に参加する際に啓発品を提供している。

市名		各市の状況
18	江南市	地域安全パトロール隊は区で設立されており、市内全68地区中63地区、総数として70隊が結成されています。 各地区のパトロール活動状況は様々ですが、週1回や隔週程度で自主的に活動しているのが、現状です。 地域安全パトロール隊への支援策としましては、地域安全パトロール隊助成事業として、反射材付きチョッキ、非常赤色灯、青色回転灯を貸与しています。
19	小牧市	小牧市では、上記の上限30万円を補助している団体のほかに、青色回転灯装着車を使用せずとも防犯パトロールの活動をされる市民10名以上で構成される自主防犯パトロール団体に、立ち上げの1年目に上限20万円、2年目以降に上限10万円の補助金を支援しております。24年度には64団体に補助金を交付しました。
20	稲沢市	地域安全推進リーダー設置要項により、防犯対策に関心のある市民に、防犯活動リーダーの登録をお願いしている。活動内容としては、街頭、駅頭、学童通学路、公園等における防犯パトロールである。支援としては、市民活動総合保険の加入及び防犯活動時のウエア、帽子等の貸与を行っている。
21	新城市	犯罪抑止のため、年4回の「安全・安心で快適なまちづくり運動」を展開し、警察、県関係団体等と協力してスーパーなどの商業施設等で街頭キャンペーンを実施しています。各学校においてもPTAを中心に、交通立ち番での指導、地域ボランティアと連携した安全指導を行い児童の安全を守っています。また、保護司会、更生保護女子会では小・中学校の下校時に合わせ巡回を実施しております。さらに、老人クラブ主催による安全・安心推進総決起大会を開催し、安全・安心運動を進め、明るく住みよいまちづくりを目指しています。
22	東海市	市内の防犯ボランティア団体は15団体あり、その内5団体が青色防犯パトロールを実施しています。防犯ボランティア団体には、地域安全パトロール活動用品貸与基準により、ベスト、帽子等のパトロール活動用品を団体に貸与しています。
23	大府市	市内10自治区と企業等の自主防犯団体により、青パト隊、徒歩パト隊が、自主パトロール実施。学童下校時に合わせた見回り活動や、当番による夜間パトロールも実施される。市としては、今後の継続を重点に支援していく。
24	知多市	安全なまちづくり県民運動期間中に、市内10コミュニティに対して、1回啓発活動の実施を依頼している。活動の内容としては、徒歩による地区内の巡回パトロール、商店前での自転車盗防止、侵入盗防止キャンペーンなどである。 支援策としては、帽子やベスト、のぼり旗の貸与をし、活動に必要な啓発品の提供をしている。
25	知立市	・駐車場防犯カメラ設置費補助金 ・防犯対策物品購入費等補助金
26	尾張旭市	県セルフガード協会による住宅防犯診断やガラス割りの実演などを市が委託料を負担し、年1団体実施している。（平成24年度予算42,000円）
27	高浜市	地域住民による防犯活動の内容：年4回の安全なまちづくり県民運動期間中に行う啓発活動（スーパー等で実施）への参加 支援策の状況：啓発活動に使用する啓発物品の提供
28	岩倉市	市内各地区の防犯パトロール隊や各種団体による防犯パトロール、児童の登下校時の見守り活動が行なわれています。 防犯パトロール用品の購入補助や貸出し、不審者情報などの情報提供を行っています。
29	豊明市	週に一度、夜間に1時間程度パトロールを実施している団体が3団体、月に1度休日に、午前、午後、夜間の1時間ずつパトロールを実施している団体が1団体です。

市名		各市の状況
30	日進市	自主防犯活動団体の登録制度を平成２２年度に開始し、現在は25団体に登録いただき、青色防犯パトロール車の運行に限らず徒歩や自転車等での防犯パトロール活動を実施していただいている。 この団体登録をいただいている団体を対象に、ベストや帽子、青色誘導棒などの物資の支援を行っている。 また、当市においては、昭和50年代から日進市少年防犯活動推進委員会という防犯活動を行う組織があり、委員を市長が委嘱し、現在67名の委員が活動を行っている。市内を中学校区ごとに4地区に分け、各地区において自主的なパトロールや啓発活動を行っていただいている。
31	田原市	・防犯パトロールやあいさつ運動、環境整備、人づくり（健全育成）事業等を通じた能動的防犯の取り組みを地域ごとに行っている。 ・防犯活動も含めた地域づくり活動に対して市は交付金による支援（事業費補助）を行っている。
32	愛西市	現在、自主防犯団体（みまもり隊）やスクールガードなどが各地域で活動しています。自治体で把握できていない団体等もありますが、子どもに関係した防犯活動については活発であると考えています。
33	清須市	・拍子木を使った定期的な夜間パトロール ・危険箇所点検活動及び清掃活動 ・通学路等における子どもの下校時見守り ・始業式・終業式におけるあいさつ運動 警察・尾張県民事務所等のボランティア団体支援事業への積極的な参加呼びかけや市が収集した情報を団体へ提供している
34	北名古屋市	特になし
35	弥富市	夜間や早朝に散歩、ウォーキング、ジョギング等をしておられる皆さんに「きんちゃんパトロール隊」に登録してもらい、散歩等する際に防犯パトロール中という帽子・腕章を着用し、街頭犯罪抑止のための地域の「監視の目」となってもらっている。
36	みよし市	現在23団体、1700名を超える方が個人または集団による自主防犯パトロール活動を行っている。 市の支援策としては、 ①防犯パトロール隊ネットワーク会議を年4回開催し、犯罪情報の提供や各自主防犯団体の意見交換の場の提供 ②自主防犯パトロール団体に対し、啓発用品（のぼり旗・プレート・帽子・腕章・ベスト・Tシャツ・防寒着・青色警戒棒・車両貼付用マグネットシート）の配布 ③自主防犯パトロール団体が啓発活動等を開催する際に、防犯啓発物品の提供 を行っている。
37	あま市	【活動団体数】防犯団体３１団体・スクールガード１５団体 【実施状況】各団体ごとに週に複数回、昼間と夜間にパトロールを実施 【活動の拡充のための支援策】防犯資機材を団体の申請に基づき構成員数に応じて支給
38	長久手市	長久手市では、18団体が市の自主防犯ボランティア団体として登録されており、それぞれの団体が児童の見守り活動や昼間・夜間パトロール等を実施している。活動時間は団体により異なる。 市では、自主防犯ボランティア団体として登録されている団体に対し、、活動資機材（黄帽子・黄ベスト等）や防犯情報の提供や活動に対する助言等を行い、地域住民の自主的な防犯活動を支援している。 また、年に一回自主防犯活動の発展を図る目的で、自主防犯団体と行政の連絡調整・団体相互の活動内容等の情報交換の場として自主防犯ボランティア連絡会議を行っているほか、平成23年度より県の協力のもと防犯ボランティア養成アカデミーを開催している。